

## 萩の江（はぎのえ）

〒024-0334 岩手県北上市和賀町藤根 14-144-15 ☎0197-71-7066

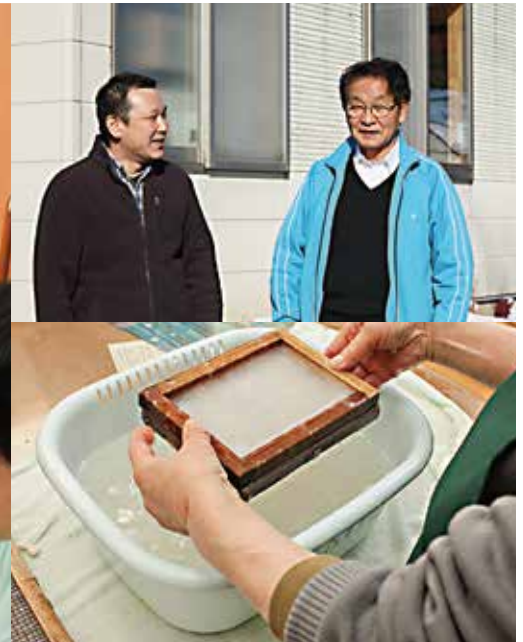
平成 16 年 4 月 1 日設立

事業内容：施設入所支援事業、生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業、地域活動支援センターⅡ型 萩の里

就労系活動内容：自主事業（菌床シイタケ栽培、和紙はがき作り、版画カレンダー、刺し子）



手作りはがきづくりは指先の運動訓練にもなっている。



紙漉き作業。あとは乾かすだけ。

## 365 日 24 時間体制で入所者のケアをする「入所型」障がい者支援施設

〈萩の江〉は最重度の知的障がい者を支援をしている入所型施設です。障害者福祉サービス事業所には“通所型”と“入所型”がありますが、ここは入所型の施設で、365 日 24 時間体制で入所者のケアをしています。余談ですが、国は自宅から通える通所型を推奨しています。ただ現実には自宅で生活できない重度の障がい者も多く、また施設が少ないため待機者がいる状態です。

施設長の伝野さんは言います。

「本当は利用者も自宅に帰りたと思っているし、施設で生活を続けたくないというのが本音でしょう。しかし、ご家族がいなかったり、いてもケアが出来ない状況もあって入所されています。」

これは認知症を含めたお年寄りの介護現場と同じ状況です。

入所者の生活を少しでも潤いあるものにしたいといういろいろな余暇活動の工夫がなされています。ポウリング、映画鑑賞、ショッピング、自治会旅行、調理実習、陶芸、クリスマス会、感謝祭などです。

日中活動では、生活科、生活訓練科、製作科、椎茸班、農産班など、科や班にわかれて活動していますが、中でも椎茸班では原木シイタケ栽培をしていました。「自然の中

で原木を運んで水につけたり、乾かしたりする作業は身体づくりやストレス発散にもちょうどいいのです。それを産直や J A に買い取ってもらい、貴重な収入源にもなりました。その売上を元に、毎年みんなで福島のハワイアンセンターに旅行に行っていたんですよ。」と伝野さん。

ただ、東日本大震災による福島第一原発の放射能の影響で 5 万本もの原木が使い物にならなくなってしまったため、今ではビニールハウスによるシイタケ栽培にシフトしているそうです。ここにも東日本大震災の影響が出ていました。

今回〈北上お試し BOX まごころ版〉に出品している「和紙のはがき」は製作科作品です。牛乳パックを小さく切って、つるつるしている薄紙をはがします。それをミキサーにかけてドロドロにし、紙すきをして乾かし、アイロンにかけて出来上がり。

1 日に 10 枚程度で 1 枚 1 枚、まさに手作りで丁寧に作られていますが、これは収入のためというより指先の運動のための作業です。

このように、障がい者福祉サービス施設での作業は、収入（工賃）を得るためだけでなく、訓練のための作業、運動のための作業、ストレスを発散するための作業など、利用者の支援目的によって分かれています。